

2026年12月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年5月15日

上場会社名 株式会社フルキャストホールディングス 上場取引所 東  
 コード番号 4848 URL <https://www.fullcastholdings.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長CEO (氏名) 平野 岳史  
 問合せ先責任者 (役職名) 財務IR部長 (氏名) 小林 勝昭 (TEL) 03(4530)-4830  
 配当支払開始予定日 —  
 決算補足説明資料作成の有無 : 有 (当社ホームページで公開)  
 決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満四捨五入)

1. 2026年12月期第1四半期の連結業績(2026年1月1日~2026年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年12月期第1四半期	24,556	47.7	2,005	△3.8	2,028	△3.7	1,445	6.0
2025年12月期第1四半期	16,625	△3.0	2,084	△11.5	2,107	△9.6	1,363	△38.1

(注) 包括利益 2026年12月期第1四半期 1,491百万円(13.9%) 2025年12月期第1四半期 1,309百万円(△42.6%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年12月期第1四半期	41.41	41.22
2025年12月期第1四半期	38.81	38.56

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年12月期第1四半期	59,596	32,835	51.7
2025年12月期	57,830	32,654	53.0

(参考) 自己資本 2026年12月期第1四半期 30,833百万円 2025年12月期 30,662百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年12月期	—	31.00	—	32.00	63.00
2026年12月期	—	—	—	—	—
2026年12月期(予想)	—	32.00	—	32.00	64.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2026年12月期の連結業績予想(2026年1月1日~2026年12月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	49,740	43.3	4,366	4.3	4,363	2.4	2,780	△2.2	79.84
通期	104,700	35.6	8,700	9.9	8,780	12.9	5,431	13.5	156.06

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 有  
 新規 1社(社名) 株式会社エントリー、除外 1社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2026年12月期1Q	35,215,449株	2025年12月期	35,215,449株
② 期末自己株式数	2026年12月期1Q	403,870株	2025年12月期	294,070株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2026年12月期1Q	34,892,009株	2025年12月期1Q	35,121,026株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に掲載されている当社グループの計画、見通し、戦略などは、一定の前提の下に作成した将来の見通しであり、また現在入手可能な情報から得られた当社経営者の判断に基づいております。従いまして、当社グループの業績、企業価値等を検討されるに当たりましては、これらの見通しのみには全面的に依拠されることは控えて下さるようお願いいたします。実際の業績は、さまざまな要素により、これら見通しとは大きく異なる結果となりうることをご承知おき下さい。実際の業績に影響を与える重要な要素としては、(1)当社を取り巻く経済・金融情勢および雇用情勢の変化、(2)地震などの災害に伴う企業インフラの損害、(3)当社グループの行う事業に適用のある労働基準法、労働者派遣法等の関連法令の変更、解釈の変更などです。また、新たな情報、将来の事象、その他の結果により、常に当社グループが将来の見通しを見直すとは限りません。業績予想の前提条件その他の関連する事項については、[添付資料] 4ページ1.(3)連結業績予想に関する説明をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する説明	2
(2) 連結財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、米国の通商政策の影響が残るものの、企業収益、個人消費、雇用情勢等にそれぞれ改善の動きがみられること、設備投資は緩やかに持ち直していること等、景気は緩やかに回復しております。景気の先行きに関しましては、中東情勢の影響に加えて、金融資本市場の変動の影響や米国の通商政策をめぐる動向などに注意する必要があること等から、依然として先行きが不透明な状況が続いておりますが、雇用・所得環境の改善や各種政策の効果が緩やかな回復を支えることが期待され、その後は、海外経済が緩やかな成長経路に復していくもとの、わが国経済も緩やかな成長を続けていくことが見込まれます。

人材サービス業界を取り巻く環境においては、雇用情勢は改善の動きがみられ、就業者数及び就業率が前年同期比で増加していること等、人手不足感が高まっています。先行きに関しましては、緩やかな回復が続くことが期待されます。

このような環境のもと、当社グループでは、当第1四半期連結累計期間において、「事業セグメントの見直し及び子会社の再編を通じた事業運営の最適化、グループ全体の生産性を高めることによる収益力の向上、M&Aの推進に伴う事業領域の拡充」を目標としたグループ経営を行い、特に主要セグメントである短期業務支援事業を中心にフルキャストグループ全体の収益を伸長させることを主眼とした営業活動を行ってまいりました。加えて、継続してグループ全体の業務効率化を推し進め、生産性を高めることで、利益の最大化を図りつつ、更なる事業拡大に取り組んでまいりました。

連結売上高は24,556百万円（前年同期比47.7%増）となりました。これは、新規連結子会社である㈱ビート（業務請負・労働者派遣事業）及び㈱エントリー（短期派遣事業）の業績を取り込んだこと、主力事業の短期業務支援事業が伸長したこと等によるものです。

利益面では、連結営業利益は2,005百万円（前年同期比3.8%減）となりました。これは、増収したことに対し、主にその他事業が減益となったこと等によるものです。

連結経常利益は2,028百万円（前年同期比3.7%減）となりました。これは、営業利益が減益したことに加えて、移転前に係る六本木新事務所の地代家賃等を営業外損失として計上したこと等によるものです。

親会社株主に帰属する四半期純利益は1,445百万円（前年同期比6.0%増）となりました。これは、子会社が保有する土地、建物の売却に伴う固定資産売却益285百万円を特別利益に計上したこと等によるものです。

当社グループは、2026年1月30日付で㈱エントリーの株式を取得し、連結子会社としております。

同社におきましては、取得価額の配分が完了していないため、企業結合に関する会計基準における暫定的な会計処理を行っております。

また、当社の連結子会社であったグロービート・インターナショナル㈱は、2026年2月27日付で清算終了し連結の範囲から除外しております。

セグメントごとの経営成績は次の通りです。

なお、当第1四半期連結会計期間より、報告セグメントの区分を変更しております。詳細は、「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項（セグメント情報等）」に記載のとおりであります。前年同期比については、前期実績を変更後の区分に組み替えた数値に基づいて記載しております。

#### ① 短期業務支援事業

短期業務支援事業の売上高は18,520百万円（前年同期比52.7%増）となりました。これは、新規連結子会社である㈱ビート及び㈱エントリーの業績を取り込んだことに加えて、「派遣」、「請負」を中心に既存サービスの売上高を伸ばせたこと等によるものです。

利益面では、増収したことに伴い、セグメント利益（営業利益）は1,936百万円（前年同期比3.1%増）となりました。

#### ② 飲食事業

飲食事業の売上高は1,930百万円（前年同期比11.2%増）となりました。これは、前期に実施した新規出店及び新業態の出店効果等によるものです。

利益面では、セグメント利益（営業利益）は117百万円（前年同期比7.0%減）となりました。これは、増収し

たことに対し、販管費のうち、人件費及び家賃地代等が増加したことに加えて、既存店舗のリニューアル工事費用を計上したこと等によるものです。

### ③ HRテック事業

HRテック事業の売上高は1,053百万円（前年同期比26.9%増）となりました。これは、新規連結子会社であるFiah(株)（採用代行事業）の業績を取り込んだこと、前期は(株)ツクリックス（求人検索アプリ事業）の業績を2025年4月から計上した一方、今期は期初から計上していること等によるものです。

利益面では、セグメント利益（営業利益）は270百万円（前年同期比19.0%減）となりました。これは、増収したことに対し、(株)インプリ（求人検索アプリ事業）、(株)ヘイフィールド（不動産関連人材紹介事業）が減益となったこと等によるものです。

### ④ グローバル・長期業務支援事業

グローバル・長期業務支援事業の売上高は10百万円（前年同期比18.7%減）となりました。これは、特定技能実習生に係る人材紹介案件の獲得数が減少したこと等によるものです。

利益面では、減収したことに伴い、セグメント利益（営業利益）は0百万円（前年同期比96.5%減）となりました。

### ⑤ その他事業

その他事業の売上高は3,042百万円（前年同期比58.4%増）となりました。これは、新規連結子会社である(株)クリエーション（商品小売業）の業績を取り込んだこと等によるものです。

利益面では、セグメント利益（営業利益）は90百万円（前年同期比57.1%減）となりました。これは、増収したことに対し、(株)エフプレイン（営業支援事業）が減益となったこと等によるものです。

## (2) 連結財政状態に関する説明

### 資産、負債及び純資産の状況

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末より1,766百万円増加し59,596百万円となりました。自己資本は171百万円増加し30,833百万円（自己資本比率51.7%）、純資産は181百万円増加し32,835百万円となりました。

資産及び負債区分における主な変動は次のとおりです。

資産の部では、流動資産が前連結会計年度末より905百万円減少し33,901百万円となりました。これは主に、現金及び預金が1,562百万円減少し19,527百万円となったこと及び受取手形及び売掛金が777百万円増加し10,871百万円となったこと等によるものです。

固定資産は前連結会計年度末より2,670百万円増加し25,694百万円となりました。これは主に、のれんが923百万円増加し8,964百万円となったこと、ソフトウェアが306百万円増加し914百万円となったことを主因として、無形固定資産におけるその他が435百万円増加し1,134百万円となったこと、投資有価証券が508百万円増加し3,285百万円となったこと及びその他投資その他資産が706百万円増加し846百万円となったことを主因として、投資その他の資産におけるその他が888百万円増加し4,428百万円となったこと等によるものです。

負債の部では、流動負債が前連結会計年度末より1,624百万円増加し23,327百万円となりました。これは主に、短期借入金が2,500百万円増加し13,000百万円となったこと及び未払費用が761百万円減少し2,114百万円となったこと等によるものです。

固定負債は前連結会計年度末より39百万円減少し3,435百万円となりました。これは主に、資産除去債務が54百万円増加し486百万円となったこと及び繰延税金負債が90百万円減少し143百万円となったことを主因として、固定負債におけるその他が40百万円減少し1,121百万円となったこと等によるものです。

(3) 連結業績予想に関する説明

当第1四半期連結累計期間における業績は、主力事業である短期業務支援事業を中心に、期初に想定した前提条件の範囲内で堅調に進捗しております。当第1四半期連結会計期間業績に第2四半期連結会計期間の業績予想値を加算した中間連結業績及び第2～4四半期連結会計期間の業績予想値を加算した通期連結業績は業績予想の修正を要する水準には至らないため、2026年2月13日に発表した2026年12月期の連結業績予想（中間連結会計期間及び通期）の修正は行いません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	21,089	19,527
受取手形及び売掛金	10,094	10,871
商品	224	224
貯蔵品	16	23
その他	3,411	3,321
貸倒引当金	△28	△64
流動資産合計	34,806	33,901
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	1,218	1,252
工具、器具及び備品（純額）	323	351
土地	5,052	4,868
その他（純額）	53	111
有形固定資産合計	6,646	6,582
無形固定資産		
のれん	8,041	8,964
商標権	1,472	1,451
その他	698	1,134
無形固定資産合計	10,212	11,548
投資その他の資産		
投資有価証券	2,777	3,285
その他	3,540	4,428
貸倒引当金	△150	△149
投資その他の資産合計	6,167	7,564
固定資産合計	23,024	25,694
資産合計	57,830	59,596

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	683	731
短期借入金	10,500	13,000
1年内返済予定の長期借入金	363	354
未払金	2,186	2,506
未払費用	2,875	2,114
未払法人税等	1,558	1,243
未払消費税等	1,912	1,740
賞与引当金	51	258
その他	1,575	1,381
流動負債合計	21,703	23,327
固定負債		
長期借入金	1,357	1,359
退職給付に係る負債	955	954
その他	1,161	1,121
固定負債合計	3,474	3,435
負債合計	25,176	26,761
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	2,780	2,780
資本剰余金	1,888	1,888
利益剰余金	26,102	26,427
自己株式	△482	△664
株主資本合計	30,287	30,431
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1	17
為替換算調整勘定	373	385
その他の包括利益累計額合計	374	402
新株予約権	196	187
非支配株主持分	1,795	1,814
純資産合計	32,654	32,835
負債純資産合計	57,830	59,596

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年1月1日 至 2026年3月31日)
売上高	16,625	24,556
売上原価	10,299	16,646
売上総利益	6,326	7,909
販売費及び一般管理費	4,242	5,904
営業利益	2,084	2,005
営業外収益		
受取配当金	3	0
持分法による投資利益	20	44
広告収入	14	21
その他	27	81
営業外収益合計	65	146
営業外費用		
支払利息	3	67
和解金	3	6
開業費	21	—
地代家賃	1	29
その他	12	20
営業外費用合計	41	123
経常利益	2,107	2,028
特別利益		
固定資産売却益	15	285
特別利益合計	15	285
特別損失		
固定資産除却損	4	18
事務所移転費用	—	7
その他	—	4
特別損失合計	4	29
税金等調整前四半期純利益	2,118	2,284
法人税、住民税及び事業税	852	954
法人税等調整額	△97	△124
法人税等合計	755	830
四半期純利益	1,363	1,454
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	9
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,363	1,445

## 四半期連結包括利益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年1月1日 至 2026年3月31日)
四半期純利益	1,363	1,454
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△10	26
為替換算調整勘定	△44	12
その他の包括利益合計	△54	37
四半期包括利益	1,309	1,491
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,309	1,472
非支配株主に係る四半期包括利益	—	19

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自2025年1月1日 至2025年3月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	短期業務 支援事業	飲食事業	HRテック 事業	グローバル・ 長期業務支援 事業	その他 事業			
売上高								
外部顧客への 売上高	12,125	1,737	830	13	1,921	16,625	—	16,625
セグメント間の 内部売上高 又は振替高	3	0	1	—	4	8	△8	—
計	12,128	1,737	831	13	1,925	16,633	△8	16,625
セグメント利益	1,877	125	333	1	210	2,546	△462	2,084

(注) 1. セグメント利益の調整額△462百万円には、セグメント間取引消去△2百万円、各報告セグメントに配賦していない全社費用△459百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第1四半期連結累計期間(自2026年1月1日 至2026年3月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	短期業務 支援事業	飲食事業	HRテック 事業	グローバル・ 長期業務支援 事業	その他 事業			
売上高								
外部顧客への 売上高	18,520	1,930	1,053	10	3,042	24,556	—	24,556
セグメント間の 内部売上高 又は振替高	1	7	1	2	3	15	△15	—
計	18,521	1,938	1,054	12	3,045	24,570	△15	24,556
セグメント利益	1,936	117	270	0	90	2,412	△407	2,005

(注) 1. セグメント利益の調整額△407百万円には、セグメント間取引消去△9百万円、各報告セグメントに配賦していない全社費用△397百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントの変更等に関する事項

当第1四半期連結会計期間より、報告セグメントの区分を「短期業務支援事業」、「営業支援事業」、「飲食事業」、「警備・その他事業」の4セグメントから、「短期業務支援事業」、「飲食事業」、「HRテック事業」、「グローバル・長期業務支援事業」、「その他事業」の5セグメントに変更しております。これは、M&Aによる事業の追加等を背景に、適切な経営情報の開示区分及び社内における業績管理区分等を見直したためであります。なお、前第1四半期連結累計期間のセグメント情報については、変更後の報告セグメント区分に基づき組み替えて表示しております。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、当第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自2025年1月1日 至2025年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自2026年1月1日 至2026年3月31日)
減価償却費	117 百万円	180 百万円
のれんの償却額	120 "	216 "